

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	産業部	課	商業計画課
---	-----	---	-------

施設名	産業研修センター	指定管理者の名称	財団法人 台東区産業振興事業団
-----	----------	----------	-----------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】〒110-0015 台東区東上野 5-6-2 台東区役所第2分庁舎1階

- ・ 台東区産業振興事業団は、区内中小企業の育成や中小企業勤労者の福祉向上を目的に昭和56年に任意団体として発足。平成11年勤労者サービスセンターと統合し、現事業団になった。
- ・ 地場産業（皮革産業）を始め産業振興の中核としての役割を担っている。
- ・ 台東区産業振興事業団勤労者サービスセンター及び産業研修センターを運営し、中小企業勤労者の福祉に貢献している。

【経営状況】18年度決算額

- ・ 基本財産の額 500,000,000 円

〔収入〕 176,811,057 円 〔支出〕 167,077,353 円 収支差額 9,733,704 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】〒111-0023 台東区橋場 1-36-2

【開設・建物概要】旧館：昭和56年10月1日開設・延面積 932.78 m²・RC3階建
機械研修室・技術研究室（3室）・大教室・資料展示室

新館：昭和58年11月1日開設・延面積 1544.67 m²・RC4階建
教養室（2室）・研修室・会議室・トレーニング室・ミーティング室

【職員数】4名（内訳）所長（1名）、事務職員（3名）

【サービス提供】登録団体への各研修室、会議室等の貸出

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業概要】・中小企業の育成及び中小企業勤労者福祉による各種研修会、講習会の実施

- ・ 中小企業勤労者のための勤労者福祉事業の実施
- ・ 皮革産業資料館の展示一般公開

【自主事業】革工芸教室・太極拳教室等実施

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【貸出施設利用数】18年度：施設利用件数1,307件、利用者数20,697人

【事業実績】○皮革産業資料館見学者数 305人
（主な見学者：区内小学校児童、関東近県の市・町村教育委員会）

- 中小企業に対する技術の指導及び研修事業
 - ・ ファッションマーケティング講座 6日間延べ48名参加
 - ・ デザイン画講座 4日延べ60名参加
 - ・ CAD講座 16日間延べ54名参加
- 中小企業の情報化・国際化等を支援する研修事業
 - ・ 各種外国語教室（4ヶ国語各20日間）延べ656名参加
 - ・ パソコン教室（3種類各5日間）延べ299名参加
- 中小企業勤労者の厚生事業
 - ・ 革工芸教室・トレーニング教室・太極拳教室等延べ2,280名参加

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予 算	負担金補助及び交付金	38,087,000	39,541,000	44,384,000		
	料金収入等	3,435,000	3,279,000	3,315,000		
	管理経費	41,522,000	42,820,000	47,699,000		
決 算	負担金補助及び交付金	36,740,332	39,541,000			
	料金収入等	3,079,150	3,163,500			
	管理経費	39,819,482	42,704,500			
	収 支	0	0			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[4]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[4] (3)設備・備品の貸出[4]、(4)利用者の安全確保[4]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[4] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[4] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[4]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[4]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[4]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[4] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[4] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器安全確認[4]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[4] (4)清掃・警備・衛生管理[4]、(5)指定管理者が行う修繕[4]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[4] (7)施設管理業務の外部委託[4]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[4]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[2] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[5]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は4項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	管理基準を十分に充足しているほか、施設利用受付、承認についても速やかに処理されており、貸出施設利用数は増えている。なお、新館のトレーニングマシン、ミーティング室、会議室のレイアウトを変更し、有効活用を図った。
②事業（区の事業、自主事業）	A	自主事業の利用実績が減っているが、各サービスの提供は良好に行なわれている。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	施設管理は適切に行なわれている。また、外部委託事業である清掃・夜間施設管理についてはシルバー人材センターを利用し適切に処理されている。
④利用者の満足度等	A-	各種研修事業時には参加者からアンケート調査を実施し、概ね満足している旨の回答も得られている。今後、施設利用者にもアンケート等により意見を聞くようにしていく。利用者数増に向けた取組みが課題である。
⑤歳入歳出	A	利用者の減少により利用料収入が減少したが、利用料確保に向け工夫している。
⑥総合評価	A-	指定管理者制度として、事務処理も含め概ね良好に管理された。
8. 課題への対応等		
◎新たな事業展開として、現在実施している事業の充実や、利用者のニーズにあった事業を取り入れる、又、利用者へのPRを徹底し、事業団の工夫により利用者数を増やして収入確保につなげるよう指導した。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	老人保健施設千束	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	----------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区千束3-28-13
 【開設】平成6年6月1日（13年経過）
 【建物概要】延べ床面積 6733㎡のうち2914㎡ 千束保健福祉センター内
 鉄筋コンクリート造地上7階地下2階のうち2階の一部、3～6階部分
 【入所定員】入所 50床（短期入所含む）、通所 1日20名
 【職員数】39名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1)、課長(1)、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤18、非常勤8)、看護師(常勤5、非常勤1)、准看護師(非常勤1)、理学療法士(1)、栄養士(1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】施設サービス計画の作成、回診、機能訓練、健康管理、介護（入浴、排泄）、食事の提供、季節行事、地域・ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。
 施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓、その他環境整備。等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】 自主事業は行っていない。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

【稼働率目標】18年度ベッドの稼働率目標を、（入所・短期入所）95%、（通所リハ）80%に設定。
 18年度の実績は（入所・短期入所）92.8%、（通所リハ）78.2%（前年度より入所・短期入所 0.2%減少、通所リハ 2.2%上昇）

【退所者の在宅復帰率】18年度 退所者総数 206 人の内、在宅復帰者 154 人（在宅復帰率 74.8%、前年度より 4.2%減少）

<利用実績> 平成18年度

◆介護老人保健施設・短期入所療養介護

	4月～3月
入所	13,431
短期入所	3,501
総数(下段は利用率)	16,932 92.8

◆通所リハビリテーション

	4月～3月
通所リハビリテーション	4,181
介護予防通所リハビリテーション	666
計	4,847
利用率 (%)	78.2

5. 予算決算の推移

(単位：円)

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金補助及び交付金	118,676,000	108,660,000	95,774,000		
	料金収入等	251,033,000	262,112,000	263,681,000		
	管理経費	369,709,000	370,772,000	359,455,000		
決算	負担金補助及び交付金	121,311,000	108,660,000			
	料金収入等	269,880,176	271,601,109			
	管理経費	343,605,338	348,785,744			
	収支	47,585,838	31,475,365			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇 [3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[-] 【標準6項目、本施設は5項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[3]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[-] (4)利用者数増等による収支改善努力[3] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」 (妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」 (要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	良好なサービス提供が行われている。
②事業(区の事業、自主事業)	A	「ご意見箱」の設置により、利用者の苦情・要望の把握に努めている。また、利用者満足度調査結果に基づく分析や職員全体のミーティングにより、サービスの改善を目指して取り組んでいる。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検及び清掃等により、緊急な工事・修繕もなく良好な管理が行われている。また、防災訓練については、地域と良好な関係に努め続き関係機関と連携して行っていく。
④利用者の満足度等	A	18年度第三者評価利用者調査では、全体概ね満足と回答しているが、利用者からの要望等職員が傾聴すべき項目について満足度は約7割程度であった。利用者満足度調査では、満足、まあまあ満足が95.4%と総合的に評価は高い(10項目)。
⑤歳入歳出	A	負担金補助及び交付金額は減少しており概ね良好な運営がなされているが、全体的に管理経費が増加している。増加内容を精査し見直しを図る。
⑥総合評価	A	事業及び施設管理において良好な管理運営がなされている。
8. 課題への対応等		
良好なサービス提供と施設管理がなされている。 施設運営については、今まで以上に利用率向上に向けた改善策の検討や取組みを図っていく。また、管理経費については、節減に向けた見直しを検討していく。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	老人福祉センター	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	----------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】東上野2-25-14
 【開設】昭和53年11月1日（29年経過）
 【建物概要】延べ床面積 1311㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち1・2階の一部、3～5階部分
 浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など
 【利用定員】なし
 【職員数】3名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(2)、施設管理員(非常勤1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ大広間・教養談話室等の開放、健康づくりの支援、防災訓練 等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】・ことぶき教室…高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習の場として教室を開催する。
 ・教養講座…ウォーキングや歴史・経済等に関する連続講座を、公募委員による参加型の協働事業として実施。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

◆ 18年度施設利用実績（年間）（人）

	男	女	計	月平均
個人利用	5,572	6,577	12,149	1,012
団体利用	13,977		13,977	1,165

（個人・団体利用 前年比11.5%増）

◆ 18年度各種行事（年間）

	社共 共済事業	落語大会	囲碁大会	移動寄席	歌謡 ショー
開催数	1	1	1	0	1
参加延人員	145	65	60	0	81

◆ 18年度ことぶき教室実績（年間）

	囲碁	カラオケ	茶道	書道	水墨画	生花	大正琴	ダンス	ニガー ングデ	気功
開催数	20	20	20	20	20	10	20	20	20	10
参加延人員	328	681	210	310	256	123	397	748	248	147

（ことぶき教室を見直し、健康づくり介護予防事業を実施）

◆ 18年度健康づくり(介護予防)実績（年間）

教室名	開催数	参加延人員
笑顔のつどい	8	181
筋力向上トレーニング	10	132
健康体操	74	944

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	38,509,000	39,181,000	41,950,000		
	料金収入等	11,000	16,000	15,000		
	管理経費	38,520,000	39,197,000	41,965,000		
決算	委託料	34,618,523	32,863,798			
	料金収入等	8,720	8,640			
	管理経費	34,627,243	32,872,438			
	収支	0	0			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[4]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[4] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[3]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[-] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」（優良）：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」（妥当）：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」（課題あり）：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」（要改善）：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	目立った苦情報告もなく、利用者が気持ちよく利用できる環境整備がなされた。
②事業（区の事業、自主事業）	A	健康づくり・介護予防に資する事業展開により、利用者層の幅が広がるとともに利用者数も増加しており、高齢者の生きがい活動の場として定着している。19年度からの介護保険法の地域支援事業の特定高齢者・一般高齢者を対象とする介護予防事業の受託により、介護予防の拠点施設としての役割を明確にしていく。
③施設の管理（補修、緊急対応等）	A	適切な日常の点検、清掃及び不具合発生時の早急な対応等により、大規模かつ緊急な工事・修繕がなかった。前年度から行っている建物屋上の屋上緑化についても環境への配慮から、良好な管理がなされている。
④利用者の満足度等	A	健康づくり・介護予防の取組みとして実施している講座等の参加者アンケートからも満足度は高く好評を得ている。施設全体に係る満足度調査を隔年から例年実施に切り替える必要がある。
⑤歳入歳出	A	18年度管理経費は17年度に比べ縮減した。主に業務委託費等の縮減がなされている。
⑥総合評価	A	良好な事業実施及び施設管理がなされている。
8. 課題への対応等		
事業の企画運営、サービスの提供等全体的に良好である。施設運営経費については、見直しにより人件費や業務委託料が縮減した。今後は高齢者がいきいきとした高齢期を過ごせるように健康づくりやいきがいくづくりに主体的に取り組める介護予防拠点施設として事業の推進を図っていく。介護予防の事業充実のために、併設するうえの高齢者在宅サービスセンターに従事する専門職員を活用していく。また、老人福祉センターは、老人福祉館3館との有機的な連携と円滑な一体的な事業運営のために、中心施設としての役割を強化していく。		

指定管理者施設管理評価シート（H19）

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	入谷老人福祉館	指定管理者の名称	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
-----	---------	----------	-------------------

1. 指定管理者の概要（業務内容、指定管理者施設、経営の状況）

【概要】台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して1986（昭和61）年10月に設立した社会福祉法人である。

【事業内容】児童部門…児童館（7）、こどもクラブ（13）
 高齢者部門…特別養護老人ホーム（3）、高齢者在宅サービスセンター（4）、地区ケアホーム（2）、ホームヘルプステーション（1）、在宅介護支援センター（3）、老人保健施設（1）、老人福祉センター（1）、老人福祉館（3）の運営

【経営の状況】（18年度決算ベース）
 [社会福祉事業会計] 歳入 2,325,052,110 円、歳出 2,307,580,095 円、収支差額 17,472,015 円
 [公益事業特別会計] 歳入 332,675,271 円、歳出 348,785,744 円、収支差額 -16,110,473 円

2. 施設の概要（施設の所在地・規模等、施設によるサービス提供の概要、特徴 入所者数・対象者数等）

【所在地】台東区入谷1-16-9
 【開設】昭和47年8月1日（35年経過）
 【建物概要】延べ床面積 341㎡ 鉄筋コンクリート造地上4階
 浴室、教養室、茶道・囲碁将棋室、図書室など
 【利用定員】なし
 【職員数】4名 ※施設長を除く（平成19年3月末現在）《内訳》施設長(1[兼務])、事務員(非常勤1)、施設管理員(常勤2、非常勤1)

3. 事業の概要、自主事業（事業によるサービス提供の概要・特徴 事業の目標(利用者数等)、自主事業）

【事業の概要】教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練等

【事業の特徴】事業団では、平成16年3月に「高齢者福祉施設運営方針」を策定。
 ①利用者本位のサービス提供、②地域福祉機能の充実、③透明性、信頼性の確保、④事業団らしさの発揮、⑤自立的、効率的運営の推進 の5つの基本方針を掲げている。

【自主事業】・ことぶき教室…高齢者が充実した日々を過ごし、互いに交友を深めることを目的とした学習の場として教室を開催する。

4. 施設の稼働状況（利用実績（利用者数等）、目標値と実績値の比較、施設管理、トラブル事例等）

◆ 18年度施設利用実績（年間）（人）

	男	女	計	月平均
個人利用	9,983	1,4131	24,114	2,010
団体利用	1,168		1,168	97
入浴利用	12,240		12,240	1,020

（個人・団体利用 前年比 4.5%減）

◆ 18年度各種行事（年間）

	社共 共済事業	移動寄席
開催数	1	1
参加延人員	146	58

◆ 18年度ことぶき教室実績（年間）

	カラオケ	生花	民謡
開催数	20	2	20
参加延人員	809	262	749

（ことぶき教室参加者 前年比 1.4%減）

◆ 18年度健康づくり（介護予防）実績（年間）

教室名	開催数	参加延人員
笑顔のつどい	8	189
各種相談	4	15

（健康づくり（介護予防）参加者 前年比 60.8%減）

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	33,358,000	27,446,000	19,588,000		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	33,358,000	27,446,000	19,588,000		
決算	委託料	24,375,061	17,410,920			
	料金収入等	0	0			
	管理経費	24,375,061	17,410,920			
	収支	0	0			

6. 評価項目		
①施設によるサービス提供		
(1)施設によるサービスが適切に提供されているか[3]、(2)施設サービス提供のための適正な人員配置[3] (3)設備・備品の貸出[3]、(4)利用者の安全確保[3]、(5)利用承認・案内等の対応と接遇[3] (6)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
②事業		
(1)委託事業が適切に実施されているか[3]、(2)委託事業の実施のための適正な人員配置[3] (3)利用者の安全確保[3]、(4)情報提供・案内等の対応と接遇[3]、(5)緊急体制・マニュアル・研修・実際の対応[3] (6)自主事業は区民サービスの向上に貢献しているか[3] 【標準6項目、本施設は6項目を評価】		
③施設の管理		
(1)建物躯体の保守管理・設備機器の安全確認[3]、(2)個人情報の保護[3]、(3)備品の管理[3] (4)清掃・警備・衛生管理[3]、(5)指定管理者が行う修繕[3]、(6)省エネ・省資源・環境配慮[3] (7)施設管理業務の外部委託[3]、(8)災害・火災等への対応・防犯体制の整備[3] (9)関係団体・地域との連絡調整等[3]、(10)管理記録[3] 【標準10項目、本施設は10項目を評価】		
④利用者の満足度等		
(1)利用者・第三者機関の評価[3]、(2)苦情等への対応と報告[3]、(3)利用者数等の目標達成度[3] 【標準3項目、本施設は3項目を評価】		
⑤歳入歳出		
(1)適正な予算執行[4]、(2)経費の縮減、縮減努力[4]、(3)施設サービス・事業等の見直し[3] (4)利用者数増等による収支改善努力[-] 【標準4項目、本施設は3項目を評価】		
7. 評価		
「A+」(優良)：協定等の遵守に加えて、プラスアルファのサービス提供、利用者数の顕著な増加等の実績がある。 「A」(妥当)：協定等を遵守し、サービス水準、利用者数等の目標を達成している。 「A-」(課題あり)：協定等を遵守しているが、サービス水準、利用者数等の目標達成に一部課題がある。 「B」(要改善)：一部、協定等が遵守できていない、又は不測の事態等により目標に達していない。		
評価の観点	評価	課題等
①施設によるサービス提供	A	各項目とも良好なサービス提供が行われている。
②事業(区の事業、自主事業)	A	施設利用者について、17年度20%と大幅増からわずかに減少しているが、事業内容の充実により高齢者のいきがい活動の場として定着している。
③施設の管理(補修、緊急対応等)	A	適切な日常の点検、清掃及び不具合発生時の早急な対応等により、大規模かつ緊急な工事・修繕がなかった。
④利用者の満足度等	A	健康づくり・介護予防の取組みとして実施している講座等の参加者アンケートからも満足度は高く好評を得ている。施設全体に係る満足度調査を隔年から例年実施に切り替える必要がある。
⑤歳入歳出	A	委託料等の見直しにより、経費の縮減がなされている。
⑥総合評価	A	事業及び施設管理において良好な管理運営がなされている。
8. 課題への対応等		
施設管理及びサービスの提供等全体的に良好である。利用者数についても実績が大幅に伸びた前年度とほぼ同水準を維持していることから、良好なサービス提供がなされており高齢者のいきがい活動の場としても定着している。 しかしながら、開設から30年以上経過し3館中一番古い施設であるため、エレベーター設備が未設置であるなどの課題がある。施設のバリアフリー化は、高齢者の安全確保の観点からも改修計画等早期に対策を講じていく必要がある。		